

◆◆関東地方整備局の動き◆◆

1. 「日本橋地下歩道」東側（Ⅲ期区間）の完成式を開催

名橋「日本橋」保存会

東京国道事務所

国土交通省東京国道事務所では、日本橋地区都市再生事業として、一般国道4号の地下空間を利用し、地下鉄銀座線三越前駅コンコースと一体となった地下歩道の整備を進めています。

このたび、室町ちばぎん三井ビルディング前約73メートル区間の完成により、東側(Ⅲ期区間)のYUITOからCOREDO室町3までの約190メートルが完成します。

完成にあたり、下記のとおり、名橋「日本橋」保存会主催による完成式を開催しますのでお知らせいたします。

記

日時 平成26年1月31日(金) 9時30分より

場所 東京都中央区日本橋室町2丁目地下歩道内

主催 名橋「日本橋」保存会

※会場の都合により一般の方のご参加はできませんのであらかじめご了承ください。

詳しくは、関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/toukoku_00000142.html

2. 平成25年度「手づくり郷土賞」(国土交通大臣表彰)に関東地方整備局管内で 2件選定!

関東地方整備局

企画部

昭和61年度に創設され、今年度で28回目の開催となる「手づくり郷土賞」(国土交通大臣表彰)では、今般、手づくり郷土賞選定委員会が開催され、20件(一般部門17件、大賞部門3件)が選定されました。

このうち関東地方整備局管内では、一般部門2件が選定されました。

【一般部門】

受賞案件:「足尾の山に100万本の木を植えよう!」官民連携による緑化活動

所在地:栃木県日光市

受賞団体:特定非営利活動法人 足尾に緑を育てる会

認定証授与式:平成26年1月24日(金) 13時15分~13時45分

会場:日光市足尾総合支所 会議室

受賞案件:遺そう我々の郷土を!伝えよう100年後の子ども達へ!

所在地:埼玉県幸手市

受賞団体:特定非営利活動法人 幸手権現堂桜堤保存会/幸手市

認定証授与式:平成26年2月5日(水) 15時00分~15時30分

会場:幸手市役所

選定された好事例は、ホームページ等を通じて広く全国に紹介する予定です。

詳しくは、関東地方整備局ホームページをご覧ください。

http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/kikaku_00000176.html

3. 「水防に関する技術」の出展を募集します。(第63回利根川水系連合水防演習)

関東技術事務所

国土交通省関東技術事務所では、平成26年5月17日(土)に栃木県宇都宮市道場宿町地先の鬼怒川河川敷で開催される「第63回利根川水系連合水防演習」において、水防関係者や一般の方々に水防に関する技術を紹介するため、水防に関する技術の出展を募集します。

【募集概要】

○募集内容:水防に関する技術

(1)工法 (2)材料 (3)機械 (4)その他

○募集期間:平成26年1月14日から平成26年2月14日まで

○応募方法:応募様式に必要事項を記入し、メール又は郵送で提出をお願いします。

詳しくは、関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/kangi_00000045.html

4. 河川砂防技術研究開発公募の開始について

関東地方整備局

河川部

国土交通省は、河川砂防技術研究開発公募における新規課題の公募を以下の分野で開始します。(募集〆切は2月4日(火))

- ・河川技術分野
- ・砂防技術分野
- ・海岸技術分野
- ・地域課題分野(河川)
- ・地域課題分野(砂防)
- ・地域課題分野(河川生態)
- ・流域計画・流域管理課題分野

河川砂防技術研究開発公募は、水管理及び国土保全行政における技術政策課題を解決するため、産学のもつ先端的な技術を積極的に活用し、産学官連携による技術研究開発を促進することを目的として平成21年に設けられた制度です。

各分野において、応募のあった課題については、有識者で構成される委員会において審査を実施し、採択の可否を決定致します。

※水防災技術分野では、平成26年度の新規課題の公募を行いません。

詳しくは、関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/river_00000114.html

5. 「災害時の基礎的事業継続力」新たに22社を認定

関東地方整備局

企画部

港湾空港部

■「災害時の基礎的事業継続力」認定(新規22社、継続38社)について

本認定は、建設会社における事業継続計画の策定を促進し、災害対応業務の円滑な実施と地域防災力の向上を目的に建設会社の基礎的事業継続力を関東地方整備局が評価し「災害時の基礎的事業継続力」を認定しているもので、認定会社は、391社(H26.1.1時点)が認定を受けています。

■平成25年度第3四半期の認定

平成25年度第2四半期の認定は、新規申請のあった22社と継続申請のあった38社について「建設会社における災害時の基礎的事業継続力評価要領」に基づき評価し認定。
(認定期間:平成26年1月1日～平成27年12月31日)

【今回認定証を交付した企業】

本文資料(PDF)別添表参照

■認定の概要

認定は本文資料(PDF)別紙の項目について評価を行い、適合した建設会社に対し、関東地方整備局が2年間の有効期限をもつ災害時の基礎的事業継続力認定証を交付します。

【認定スケジュール】

四半期毎に評価認定を行います。

今回は平成26年1月末迄の申請会社を対象に評価し、3月に認定を行う予定としております

詳しくは、関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/kikaku_00000175.html

6. 自転車、ナビラインで歩道から車道へ。ドライバーからも好評価

都内初の自転車ナビライン、試行半年後の利用状況及び効果

東京国道事務所

東京国道事務所、警視庁、東京都等は、平成 24 年 10 月より「自転車通行環境整備課題検討WG(会長:東京工業大学大学院屋井教授)※」を設置し、東京都内の自転車通行環境整備の検討を進めています。

平成 25 年 3 月に東京国道事務所と警視庁は、東京都内の 2 箇所の交差点において、自転車の安全な通行を確保するための自転車ナビライン(交差点内における自転車の通行位置明示)等を試行的に初めて設置しました。

今回、試行半年後の利用状況及び効果(本文資料(PDF)次頁参照)をとりまとめましたのでお知らせいたします。なお、利用状況については今後も継続して調査を行います。

<試行結果のポイント>

- 試行前後における自転車通行位置の調査をした結果、歩道上を通行する割合が減少し、車道の左側端を通行する割合が増加しました。
- 自転車利用者・ドライバーにアンケート調査をした結果、「ナビラインが見やすい」との評価であり、「ナビラインの設置を今後も進めていくべきである」との意見をいただきました。

詳しくは、関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/toukoku_00000141.html

◆◆国土交通本省の動き◆◆

1. 平成25年度 優良な中間支援活動の取組事例調査 成果報告会の開催について

NPO 法人や民間企業、住民などの地域の様々な担い手が主体となった、特産品づくりや観光の開発といった地域活性化のための「地域づくり活動」が、全国で取組まれています。

国土交通省では、地域づくり活動を支える「中間支援組織」が行う先進的な7団体の取組をモデル事業として選定し、調査を行ってきました。これらの活動の成果を広く周知し共有することを目的として、下記の要領で成果報告会を開催いたします。

概要

■日 時 : 平成26年2月17日(月)14:00~17:00

■場 所 : フクラシア浜松町 会議室 A・B

(東京都港区浜松町1-22-5 浜松町センタービル6階)

■報告団体 : NPO 法人 北見 NPO サポートセンター
一般社団法人 WATALIS
NPO 法人 コミュニティビジネスサポートセンター
NPO 法人 しんきん南信州地域研究所
NPO 法人 都岐沙羅パートナーズセンター
コミュニティ・ユース・バンク momo
公益財団法人 みらいファンド沖縄

■参加費 : 無料

■参加申し込み先 : 優良な中間支援活動の取組事例調査成果報告会 事務局
【(株)日本能率協会総合研究所】
TEL:03-3578-7523

FAX:03-3432-1837

E-mail: area_plan@jmar.co.jp

詳しくは国土交通省ホームページでご覧いただけます。

http://www.mlit.go.jp/report/press/kokudoseisaku04_hh_000060.html

2. 平成26年度「道路ふれあい月間」推進標語の募集について

国土交通省では、毎年8月を「道路ふれあい月間」として、道路の正しい利用や道路愛護活動の推進に努めていますが、

この一環として、平成26年度「道路ふれあい月間」推進標語を広く一般から募集します。

道路は、国民の日常生活や経済活動に欠くことのできない基本的な施設ですが、あまりにも身近な存在であるため、その重要性が見過ごされがちです。

そこで、この推進標語の募集を通じて、改めて道路の意義・重要性について考えていただくことを目的としています。

記

◇テーマ◇

道路は、生活の向上と経済の発展に欠くことのできない国民共有の、つまりあなたの財産です。みんなが道路と親しみ、ふれあい、常に広く、美しく、安全に、共に楽しく利用し、子孫に受け継いでいきましょう。

◇応募資格◇

小学生以上の方から応募できます。

◇応募期間◇

平成26年3月31日(月)まで(当日必着)

◇応募部門・賞◇

〔小学生の部〕 最優秀賞1作品、優秀賞2作品

〔中学生の部〕 最優秀賞1作品、優秀賞2作品

〔一般の部(高校生以上)〕 最優秀賞1作品、優秀賞2作品

◇応募方法◇

1人何作品でも応募できます。

●はがきによる応募の場合

はがきに、標語と必要事項〔氏名とフリガナ、住所、電話番号、性別、年齢、応募部門の別〕及びアンケート(何を見て応募したのか(回答は任意です))を記載のうえ、郵送してください。

(郵送先)〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3

国土交通省道路局道路交通管理課 標語担当あて

●電子メールによる応募の場合

1. 電子メール本文に、標語と必要事項〔氏名とフリガナ、住所、電話番号、性別、年齢、応募部門の別〕及びアンケート

(何を見て応募したのか(回答は任意です))を記載のうえ、fureaigekkan-h2x5@mlit.go.jpに送信してください。

※上記アドレスからのメールが受信できるようにしてください。

2. [応募様式【個人用】](#)に記入し、電子メールに添付して応募することもできます。

※Microsoft Office Excel97 以降のソフトが使用できる環境にあること。

●小学校・中学校単位での応募の場合(学年・クラス単位含む)

1. 作品をとりまとめのうえ、封書にて郵送してください。学校名・学校所在地での応募が可能です

す。

2. [応募様式【学校用】](#)に記入し、電子メールに添付して応募することもできます。

※Microsoft Office Excel97 以降のソフトが使用できる環境にあること。

※その他のファイル(Word、一太郎など)でも受け付けます。

◇入選作品の発表・使用◇

入賞作品は決定次第、ご本人に直接通知するとともに、国土交通省ホームページ等で発表し、「道路ふれあい月間」の推進に幅広く活用させていただきます。

◇表彰◇

「道路ふれあい月間」期間中に国土交通省から賞状及び楯を贈呈いたします。

◇参考◇

平成25年推進標語・最優秀賞

『 ゆずり合い せまい道路も 広くなる 』

『 踏みしめて 未来へつづく 道がある 』

『 おかえりと 道の向こうで 待つ笑顔 』

◇その他◇

・応募作品の返却は致しません。

・入賞作品の著作権は主催者に帰属します。

◇主催◇

国土交通省

◇ダウンロード◇

[「道路ふれあい月間」推進標語の募集チラシ](#)

詳しくは国土交通省ホームページでご覧いただけます。

http://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_000392.html

3. 平成25年度「手づくり郷土賞」を選定しました

今般、手づくり郷土(ふるさと)賞選定委員会を開催し、全国各地から寄せられた46件の応募(一般部門:40件、大賞部門:6件)の中から優れた取組を「手づくり郷土(ふるさと)賞」として選定いたしましたので、お知らせいたします。

「手づくり郷土(ふるさと)賞」は、社会資本と関わりをもつ地域づくりの優れた取組を表彰し、好事例として広く全国に紹介することで、個性的で魅力ある地域づくりに向けた取組が進むことを目的として、昭和61年度に創設された国土交通大臣表彰です。
平成25年度で28回目の開催となります。

■平成25年度「手づくり郷土(ふるさと)賞」選定結果

選定数

一般部門 17選
大賞部門 3選

※選定案件の詳細については、別添資料をご覧ください。


今後、各地方整備局等を通じて、認定証の授与式が行われます。
また、選定された好事例は、ホームページ等を通じて広く全国に紹介する予定です。

添付資料

[報道発表](#) (PDF 形式) 

[【資料1】平成25年度選定結果](#) (PDF 形式) 

[【資料2】受賞案件概要](#) (PDF 形式) 

[【資料3】講評](#) (PDF 形式) 

[【資料4】認定証授与式開催予定及び問合せ先](#) (PDF 形式) 

[【資料5】手づくり郷土賞の概要](#) (PDF 形式) 

[【参考資料】過年度選定数](#) (PDF 形式) 

詳しくは国土交通省ホームページをご覧ください。

http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo03_hh_000055.html

4. 道路案内標識における英語表記改善の状況について

～外国人旅行者にも分かりやすい道路の案内標識へ～

観光立国の実現に向け、道路案内標識が外国人旅行者にも分かりやすいものとなるよう、観光地域を中心に英語表記に改善する取組を実施しているところですが、平成25年12月時点の進捗状況をとりまとめましたのでお知らせします。

<先行的に取り組んでいる観光地域>

「訪日外国人旅行者の受入環境整備事業」における戦略拠点・地方拠点

添付資料

[戦略拠点・地方拠点における道路案内標識改善進捗状況](#) (PDF 形式) 

[戦略拠点・地方拠点における現在の実施箇所一覧](#) (PDF 形式) 

[道路案内標識改善フロー](#) (PDF 形式) 

詳しくは国土交通省ホームページでご覧いただけます。

http://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_000390.html

◆◆地域の動き◆◆

橋梁点検講習会・現地実習

関東地方整備局 北首都国道事務所

1. 概要

既存の道路ストックを長く大事に保全し、安全で安心な道路サービスの提供やライフサイクルコストの縮減を図るため、橋梁点検を定期的を実施しています。今年度も当事務所職員及び近隣の自治体職員を対象に、橋梁点検技術の向上を目的として「橋梁点検講習会」及び「橋梁点検現地実習」を2日間にわたり開催しました。

【橋梁点検講習会】

日 時：平成25年11月14日（木） 10:00～16:10

場 所：北首都国道事務所 会議室（埼玉県草加市花栗）

プログラム（各90分）

- ・既設道路橋のマネジメント 講師：関東地方整備局 道路部
- ・橋梁点検と点検調書について 講師：大日コンサルタント(株)
- ・橋梁点検と判定区分について 講師：関東地方整備局 関東技術事務所

【橋梁点検実習】

日 時：平成25年11月15日（金） 13:30～16:00

場 所：国道298号荒川左岸取付高架橋（埼玉県戸田市美女木）

- ・橋梁の模擬点検
- ・鋼橋の疲労亀裂調査（MT試験）の実演
- ・サーモグラフィを用いた調査の実演

【参加者】

○当事務所職員及び近隣の自治体職員 24名

参加自治体（順不同）

- ・埼玉県 ・さいたま市 ・白岡市 ・幸手市 ・越谷市 ・戸田市
- ・草加市 ・三郷市 ・朝霞市

2. 開催状況

【橋梁点検講習会】

橋梁の基礎知識のほか、道路構造物における今後の管理・更新等のあり方や道路橋の予防保全に向けた提言、点検時のチェックポイントや対策区分の判定事例について学びました。

(写真-1)



写真-1

【橋梁点検実習】

非破壊試験（RCレーダーによるコンクリート構造物内の鉄筋探査、サーモグラフィ試験による橋梁の温度変化による空洞探査、磁粉探傷試験による鋼部材の亀裂の有無）の実演、体験や点検調書の作成実習を行いました。

(写真-2) RCレーダーによる鉄筋探査 (写真-3) 点検調書の作成



写真-2



写真-3

【参加した自治体職員の声】

- 「新しいものを造るというよりも、今まで造られているものを適切に管理していくことが非常に大事なことだと思っているので、非常に参考になった」
- 「珍しい機械や方法などを実際に見れるよい機会、橋梁に対する知識を持った人が少ないため、今後も定期的に講習会を続けた方がよい」

3. おわりに

本講習会、現地実習は平成22年度から毎年開催しており、今年度で4回目を迎えました。橋梁の長寿命化には、各道路管理者の橋梁保全に関する技術の習得、向上が重要であるため、引き続き、地域の道路を管理する自治体と連携を図りながら進めてまいります。